



新本っ子

学校通信 No. 43
令和5年12月発行
新本小学校

【学校教育目標：豊かな人間性をもち、実践力のある子どもを育成する】

令和5年12月5日

新 自分で考える子 **本** 本気で取り組む子 **義** きまりを守る子 **民** みんな仲良く元気な子

参加者全員走りきった！ 校内持久走記録会



11月30日(木)、校内持久走記録会が行われました。今年から、運動場トラックを所定の時間(5分間)周回し、走行距離を測定する内容に変えての実施となった記録会。

真っ青な空から暖かい日差しの差す絶好の持久走日和となりました。午前10時50分に下学年がスタート。その後、上学年が実施。

スタート合図後、練習で培った自己ペースを守り、トラックを周回していきます。小学校体育で、持久走は体の動きを高める運動と位置づけられ、競走ではなく、個人の持久力を高める運動とされています。この趣旨を基本に、11月上旬から朝運動(週1回)や体育の時間、休み時間を通して練習に取り組んでいました。

応援に駆けつけた幼稚園児や保護者の方などたくさんの人の見守る中、参加者は全員、最後まで走りきることができました。

自己記録の更新を目指して臨んだ記録会。参加者全員が完走できたことが何よりのうれしい成果となりました。

なかよし週間に向けて【朝礼講話】

(前略) 今週から新本小では、なかよし週間として人権の取り組みを行います。12月始めのこの時期(12月4日～12月10日)、



全国の学校では人権週間を設けて、人権について集中的に勉強しています。

なかよし週間の始まりに当たり、松谷みよこさんの「わたしのいもうと」という本を紹介します。このお話は松谷さんに送られた手紙をもとに書かれた本当にあったお話です。【「わたしのいもうと(松谷みよこ作)」を音読】

いじめをした多くの人は「いじめているつもりはなかった」「軽い気持ちだった」「冗談だった」などと言います。しかし、「いじめ」をされると、「わたしのいもうと」のように、しゃべることができなくなり、御飯を食べられなくなり、息が苦しくなって死んでしまうこともあるのです。

わたしたちは、もしかすると知らず知らずのうちに誰かを傷つけているかもしれません。また、誰かが誰かを傷つけているのに、気がつかないでいるかもしれません。また、傷つけたことに気がついていても、素直に謝れないかもしれません。

でも、それでいいのでしょうか。学校はたくさんの友だちがいて、みんなで一緒に生活をしています。きっと、まわりの誰かが気がつくはずです。そして、「そんなことをしてはだめだよ」「どうしてそんなこと言うの」と言える人がいると信じています。もし言われたら、素直に聞ける人になってほしいと思います。